

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.905
2021.1.31-2.7

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/神田よしゆき
とりうみ敏行
松村 としお
久保 みきとば めぐみ
金子 あきよ
たけこし 連

コロナ禍でがんばる 市民のための市政へ

2021 年度予算要望の回答を受け取る



び学校給食費の値下げ等、市民負担の引き下げをおこなうこと」との要望には、いずれも引き下げをおこなわないという回答でした。さらに、公共施設について「利用人数の上限を定数の半数にしている施設使用料（会場費）を半額に減免すること」との要望には「施設使用料は利用可能人数に対する料金ではなく、一定時間部屋を占有することに対する料金であるため、使用料を軽減する予定はない」と実質ゼロ回答でした。

1 月 22 日、清水勇人市長より、党市議団の 2021 年度予算編成に関する要望書への回答を受け取りました。

市長より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により市税収入が約 102 億円の減となった一方で、国庫・県支出金等の増により、全体として 2021 年度の当初予算は 1 兆 557 億円と過去最大規模となったことが報告されました。

市長は新型コロナウイルス感染症対策について「国の動向を注視し、今後も機動的かつ弾力的に対応する」と述べましたが、経済支援として「本市の独自支援として水道料金及

青年・学生支援について「市の臨時職員への学生の雇用をおこなうこと」との要望に「支援を目的とした学生の雇用はおこなっていないが、会計年度任用職員の募集には学生であっても応募が可能。（略）他市の事例等も参考にしながら、検討する」と回答しました。

● 要望書と回答の全文は
市議団ホームページへ



2 月議会がはじまります

2 月 2 日から 3 月 18 日まで、2 月議会が開催されます。2 月 8 日～10 日までおこなわれる代表質問には、党市議団から神田よしゆき、

とばめぐみの両市議が登壇します。日時が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。インターネット中継をぜひご覧ください。



神田よしゆき市議

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. コロナ禍のもとでの経済対策について
3. 予算組み替え提案について
4. 少人数学級について



とばめぐみ市議

1. 認可保育所の設置基準引き上げと保育士の処遇改善について
2. 放課後児童クラブ・学童保育について
3. 公共施設マネジメント計画について
4. 障害者政策について
5. 食肉卸売市場・と畜場及び地域経済活性化拠点について

※質問項目は変更になる場合があります。

学校給食費を減免して 請願の紹介議員に

2 月議会に向けて、「新型コロナ対策として学校給食費を減額・免除するよう求める請願」が緑区と桜区の保護者有志から出され、党市議団として紹介議員になりました。

請願では、埼玉県内で 26 自治体が学校給食費の減額や無償化にとりくんでいることが紹介され、さいたま市が給食費の値上げをしたことを指摘。新型コロナによる経済悪化の

影響は今後も続くことを考え、他自治体のように、すべての児童生徒を対象に減額・免除をおこなうよう求めています。採択に全力を挙げます。

2 件の意見書(案)を提出

- ①行政検査の全額国費負担を求める
 - ②児童福祉施設最低基準（保育所関連）の引き上げを求める
- 議会運営委員会に諮られ、全会派一致となれば国に送致されます。

コロナ長期化で切迫

自営業者・個人事業主に 第2弾の給付金を



要望書の提出に同席するとば市議（右端）

1月22日、埼玉土建の市内3支部と、民主商工会（大宮、浦和、岩槻）が合同で「さいたま市小規模企業者・個人事業主給付金（一律10万円・昨年8月終了）」の第2弾（追加給付）を求めて要望書を提出しました。とばめぐみ市議が同席しました。

市は要望に対し「国・県の取り組みを注視したい」と話しました。しかし参加者からは「年

末まではなんとか耐えたが、忘年会予約がゼロになり閉店を決めた人が多い。浦和民商の会員だけで昨年12軒が閉店した」「感染拡大で建設現場が止まり、感染不安による延期もある。今月来月のスパンで支援が必要」「コロナが長期化するなかで、市の支援はほぼ終了。国・県の動向を待ってられない状況。早急

に手を打ってほしい」といった建設労働者や自営業者の切迫した声が寄せられました。

とば市議は「いろいろな支援のなかでも直接給付がいちばん助かる。市の給付金は国や県の制度の狭間の市民が救われた。国・県の動向を待たずに市独自で踏み出して希望を届けてほしい」と話しました。

高齢者施設職員のPCR検査補助 これでは足りない

さいたま市では昨年12月から高齢者施設に新たに入所する人に限りPCR検査をおこなうための上限2万円の補助制度をはじめました。また12月議会での「新型コロナウイルス感染症に関する検査体制の拡充等を求める決議」を受けて、1月からショートステイ利用者にも広げ、高齢者施設職員を新たな補助（上限9000円）対象に加えました（すべて1人1回限り）。その後、1月15日に埼玉県が高齢者施設職員対象にPCR検査を全額公費負担でおこなうことを発表しました。

当初、PCR検査の対象が濃厚接触者

とクラスターに限られていたのが、幅広い国民の運動と世論におされて対象が少しずつ広がり、さいたま市も小出しではありますが対応をはじめました。

しかし、さいたま市が「最も安い検査価格」を基準に補助に上限を設けたのは問題です。施設によっては自己負担が発生するおそれから検査協力にちゅうちょしかねません。党市議団としては、引き続きさいたま市に対し、自己負担なく定期的なPCR検査を対象を広げておこなうことで感染拡大防止に積極的に取り組むよう求めます。

親の会の代表から聞き取りをおこなうとば市議



不登校の親の会と 教育委員会が懇談

実現

1月13日におこなわれたさいたま市母親大会実行委員会と市の懇談で出された、市内の不登校の親の会と市教育委員会との懇談を強く望む声に対して、市は2日後に「懇談をする」と回答し、1月19日に親の会の代表と教育相談室との懇談がおこなわれました。懇談は2006年と2008年におこなわれて以来、実に12年ぶりとなります。

その後、とばめぐみ市議は、親の会の代表から懇談の様子や課題等を聞きました。代表

らは「やっと実現した。県内各地の親の会をつなぎ県の官民連携会議に委員を送る『不登校・ひきこもりを考える埼玉県連絡会』や、全国の親の会を結び、夜間中学やフリースクール等の国会議連には参考人として出席している『登校拒否・不登校問題全国連絡会』を紹介し、理解を求めた。今後定期的に懇談を続けることや、市のフリースクール等連絡協議会の傍聴等を求めていく」と話しました。とば市議は「粘り強く求め続けてきた親たちの願いが実を結んだ。今後も不登校児によりそった対策を市に求めたい」と語りました。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保 みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連